

## SQL トレーニング ～研修受講後テスト 解答～

※問題で使用する emp 表、dept 表の構成は研修で使用したものと様とします。

**■問題 1 【問合せの基本操作】**

以下の問合せ文で正しく実行できるものを全て選んで下さい。

- SELECT empno ename sal FROM emp;
- SELECT ename, sal, sal\*12 AS "Annual Income" FROM emp;
- SELECT \* WHERE ename = 'SMITH' FROM emp;
- SELECT DISTINCT job FROM emp;

<テキスト掲載箇所>2-1 ～ 2-28

**■問題 2 【問合せの基本操作】**

以下の問合せ文で正しく実行できるものを全て選んで下さい。

- SELECT DISTINCT job, DISTINCT deptno FROM emp;
- SELECT ename FROM emp GROUP BY deptno;
- SELECT \* FROM emp WHERE deptno = 30 ORDER BY sal desc;
- SELECT \* FROM emp WHERE empno IS 7369;

<テキスト掲載箇所>2-9 ～ 2-50

**■問題 3 【問合せの基本操作】**

それぞれの説明で正しい関数を全て選んで下さい。

- 日付データを文字データへ変換する場合は、TO\_CHARを使用する。
- SYSDATE関数は、現在の日時を確認することができる。
- デフォルトの日付書式以外で日付をデータへ挿入していく場合は、TO\_DATE関数を使用する。
- TRUNC関数を使用して、四捨五入ができる。

<テキスト掲載箇所>2-53 ～ 2-66

**■問題 4 【問合せの応用操作】**

副問合せの説明で正しいものを全て選んで下さい。

- SELECT ename FROM emp WHERE deptno IN (SELECT deptno FROM emp ORDER BY deptno);
- SELECT ename FROM emp WHERE (job, deptno) IN (SELECT job, deptno FROM emp);
- SELECT ename, sal FROM emp WHERE sal > (SELECT sal FROM emp WHERE ename = 'SMITH');
- SELECT ename FROM emp WHERE sal < ANY (SELECT sal FROM emp WHERE deptno = 30);

<テキスト掲載箇所>3-1 ～ 3-12

**■問題5【問合せの応用操作】**

以下のSQL文で表の結合を行うSQLで正しいものを全て選んで下さい。

- SELECT ename, deptno, dname FROM emp, dept WHERE emp. deptno=dept. deptno;
- SELECT ename, dept. deptno, dname FROM emp, dept ON emp. deptno=dept. deptno;
- SELECT ename, emp. deptno, dname FROM emp JOIN dept WHERE emp. deptno=dept. deptno;
- SELECT ename, emp. deptno, dname FROM emp, dept WHERE emp. deptno=dept. deptno;

<テキスト掲載箇所>3-21 ~ 3-43

**■問題6【DMLの基本操作】**

以下のDML処理で正しいものを全て選んで下さい。

- INSERT INTO emp (empno, ename, sal) VALUES ('ALICE', 6534, 1200);
- UPDATE emp SET sal = 1000 WHERE ename = 'SMITH';
- DELETE FROM emp WHERE deptno = 20;
- INSERT INTO emp (empno, ename, job, sal) VALUES (6534, 'ALICE', (SELECT job FROM emp WHERE ename = 'SMITH'), 1200);

<テキスト掲載箇所>4-1 ~ 4-13

**■問題7【トランザクション制御】**

COMMIT、ROLLBACKについて正しいものを全て選んで下さい。

- ROLLBACKを実行した場合、一度COMMITしたデータも含め、全て取り消される。
- 表を作成した後、ROLLBACKを実行すると表の作成処理は取り消される。
- 障害が発生した場合、ユーザーは常に明示的なROLLBACKをする必要がある。
- 構文ミスなどでSQL実行時にエラーが発生した場合、エラーが発生した1文のみがロールバックされる。

<テキスト掲載箇所>5-1 ~ 5-8

**■問題8【同時実行制御】**

同時実行制御の説明で正しいものを全て選んで下さい。

- FOR UPDATEを使用すると検索対象行をロックできる。
- SELECTしている最中に、他のユーザーは同一の行の更新処理ができない。
- FOR UPDATE句のWAITオプションを使用すると、待機状態を避けることができる。
- デッドロックが検出された場合、制御が戻されたユーザーは、明示的にROLLBACKを行う必要がある。

<テキスト掲載箇所>5-9 ~ 5-19

■問題9【DDLの基本操作】

DDL 処理で行える操作を全て選んで下さい。

- 列名、制約名を改名できる。
- 表内で列の順番を入れ替えることができる。
- 既存の表に列や制約を追加できる。
- データが入っている既存列のデータ型を文字型から数値型へ変更できる。

<テキスト掲載箇所>6-1 ~ 6-42

■問題10【DDLの基本操作】

オブジェクト権限の説明で正しいものを全て選んで下さい。

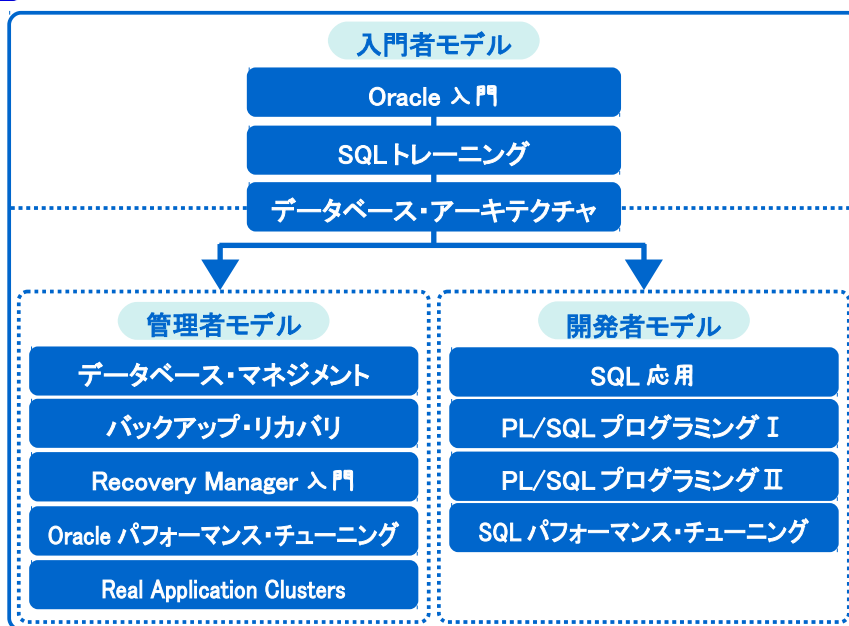
- 権限の取り消しは1つずつ行うものであり、付与した全ての権限をまとめて取り消すことはできない。
- オブジェクトの所有者は所有しているオブジェクトに対し全てのオブジェクト権限をもつ。
- 表を作成するためにはオブジェクト権限が必要である。
- データベース・オブジェクトはスキーマ単位で管理されている。

<テキスト掲載箇所>6-55 ~ 6-58

**I**nformation

アシスト Oracle 研修内容の詳細については下記ページをご覧ください。  
<http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/oracle/>

アシストOracle研修受講モデル



<入門者モデル>

Oracleの基本構造やSQLの基礎構文など、Oracleの全体像を理解できます。新入社員や異動された方など、これからOracleに携わる方にぴったりのモデルです。

<管理者モデル>

管理者として必要な運用管理タスクの理解やバックアップリカバリ、システムチューニングの技術を習得できます。

<開発者モデル>

Oracleを使用した開発に必要なPL/SQLの習得、索引やSQL記述方法などによるSQLチューニング技術を習得できます。

※研修内容についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

アシスト教育部：【TEL】0120-874-337 / 【FAX】0120-874-437/ 【E-Mail】[edusup\\_ora@ashisuto.co.jp](mailto:edusup_ora@ashisuto.co.jp)